

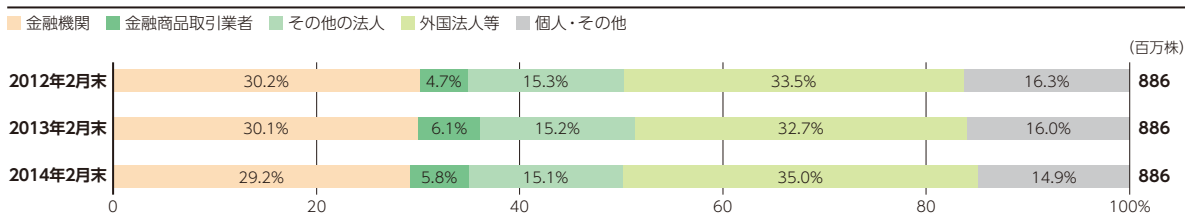
株式情報

大株主

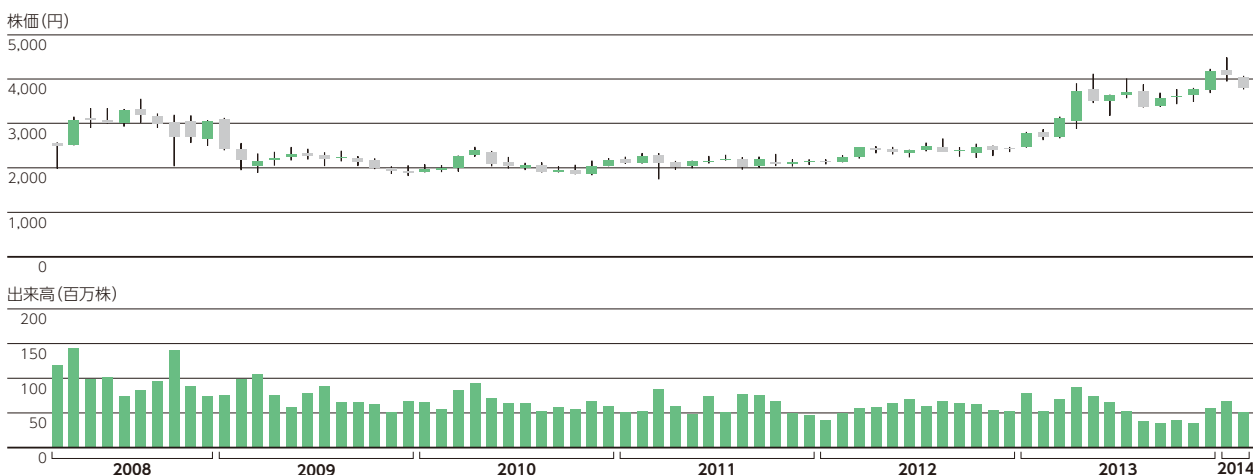
(2014年2月末現在)

	株式数(千株)	持株比率
伊藤興業株式会社	68,901	7.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	40,800	4.6%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	38,510	4.3%
日本生命保険相互会社	19,664	2.2%
伊藤雅俊	16,801	1.9%
三井物産株式会社	16,222	1.8%
第一生命保険株式会社	13,777	1.6%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	12,292	1.4%
三井住友海上火災保険株式会社	12,251	1.4%
野村證券株式会社自己振替口	11,731	1.3%

所有者別株式分布状況



株価・出来高の推移(月足)



	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
株価(円)						
始値	¥2,550	¥2,055	¥2,008	¥2,295	¥2,245	¥2,699
高値	¥3,550	¥2,465	¥2,468	¥2,328	¥2,866	¥4,485
安値	¥1,962	¥1,831	¥1,848	¥1,755	¥2,222	¥2,680
終値	¥2,195	¥2,004	¥2,277	¥2,246	¥2,706	¥3,813
出来高(千株)	1,194,651	840,559	771,407	724,134	741,266	672,366

投資指標(連結)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
期中平均株式数*	918,389,766	903,458,314	887,128,871	883,499,397	883,532,139	883,564,722
期末発行済株式数*	903,459,511	903,458,108	883,463,233	883,506,457	883,534,869	883,565,634
1株当たり当期純利益	¥100.54	¥49.67	¥126.21	¥146.96	¥156.26	¥198.84
1株当たりキャッシュ・フロー	¥253.56	¥196.03	¥275.48	¥305.41	¥332.45	¥365.64
1株当たり純資産	¥1,975.95	¥1,905.97	¥1,927.09	¥1,998.84	¥2,140.45	¥2,371.92
株価収益率(倍)	21.8	40.3	18.0	15.3	17.3	19.2
株価キャッシュ・フロー倍率(倍)	8.7	10.2	8.3	7.4	8.1	10.4
株価純資産倍率(倍)	1.1	1.1	1.2	1.1	1.3	1.6
1株当たり年間配当金	¥56.00	¥56.00	¥57.00	¥62.00	¥64.00	¥68.00
連結配当性向	55.7%	112.7%	45.2%	42.2%	41.0%	34.2%
株主資本配当率	2.8%	2.9%	3.0%	3.2%	3.1%	3.0%

* 自己株式を除く

沿革

■ 資本政策・財務戦略 ● 店舗展開・営業政策

セブン&アイHLDGS.設立以前のあゆみ

- 1958 4月 ■ ㈱ヨーカ堂を設立 Photo A
- 1971 3月 ■ ヨーカ堂を㈱イトーヨーカ堂に社名変更
- 1972 9月 ■ イトーヨーカ堂、東証へ上場
- 1973 3月 ■ ㈱ヨークベニマルと業務提携
- 11月 ■ 米国最大のコンビニエンスストアチェーンのサウスランド社とライセンス契約を締結し、㈱ヨークセブンを設立 Photo B
- 11月 ■ 米国レストランチェーンのデニース社との提携に基づき、㈱デニーズジャパンを設立
- 1977 7月 ■ イトーヨーカ堂、米国ナスダックへ米国預託証券(ADR)を登録
- 1978 1月 ■ ヨークセブンを㈱セブン-イレブン・ジャパンに社名変更
- 1979 10月 ■ セブン-イレブン・ジャパン、東証へ上場
- 1980 11月 ■ ヨークベニマル、東証へ上場
- 1982 2月 ■ デニーズジャパン、東証へ上場
- 1986 7月 ■ イトーヨーカ堂のADRを米国ナスダック市場ナショナルマーケットシステムへ指定替え
- 1991 3月 ■ イトーヨーカ堂とセブン-イレブン・ジャパンはIYGホールディングス社を設立し、サウスランド社へ資本参加、経営権を取得
- 1996 12月 ■ 成都イトーヨーカ堂有限公司を中国四川省成都市に設立
- 1997 9月 ■ 華糖ヨーカ堂有限公司を中国北京市に設立
- 1999 4月 ■ サウスランド社を7-Eleven, Inc.に社名変更
- 2000 7月 ■ 7-Eleven, Inc.、米国ナスダックからニューヨーク証券取引所に再上場
- 2001 4月 ■ ㈱アイワイバンク銀行を設立
- 10月 ■ ㈱アイワイ・カード・サービスを設立
- 2003 5月 ■ イトーヨーカ堂、米国ナスダックにおけるADRの登録を廃止
- 2004 1月 ■ セブン-イレブン北京有限公司を中国北京市に設立

セブン&アイHLDGS.設立からのあゆみ

- 2005 9月 ■ ㈱セブン&アイ・ホールディングスを設立、東証へ上場
- 10月 ■ アイワイバンク銀行を㈱セブン銀行に社名変更
- 11月 ■ 株式公開買い付けにより7-Eleven, Inc.を完全子会社化
長期的な収益向上及びセブン-イレブンのグローバル戦略の推進を目的に同社を完全子会社化
- 11月 ● セブン-イレブン・ジャパン、岐阜県に初出店
- 11月 ● 『アリオ札幌』、『アリオ川口』グランドオープン
- 2006 2月 ■ セブンアンドワイ㈱を子会社化
グループのIT事業の中核会社として同社の子会社化を実施
- 2月 ● セブン-イレブン・ジャパン、三重県に初出店
- 3月 ● 『アリオ亀有』グランドオープン
- 5月 ● 『そごう 千葉店』全館リニューアルオープン
- 5月 ● 国内のセブン-イレブンへ「第6次総合情報システム」の導入を開始
- 6月 ■ 株式交換により㈱ミレニアムリテイリングを完全子会社化
グループの百貨店事業の強化として、そごうと西武百貨店を子会社に持つ同社を完全子会社化 Photo C
- 7月 ■ 自己株式427,509,908株の消却を実施
イトーヨーカ堂が上場時に保有していたセブン-イレブン・ジャパン株式及びデニーズジャパン株式を消却
- 8月 ■ 7-Eleven, Inc.、White Hen Pantry, Inc.を買収
米国シカゴ地区で約200店舗のコンビニエンスストアを展開する同社を買収
- 9月 ■ 株式交換によりヨークベニマルを完全子会社化
関連会社だった同社を完全子会社化し、食品スーパー事業の中核会社に位置付け
- 11月 ● 「グループMD(マーチャンダイジング)改革プロジェクト」発足
- 12月 ● 『アリオ八尾』グランドオープン
- 2007 1月 ■ ㈱セブン&アイ・フードシステムズを設立
外食事業分野の統合・再編を目的に新会社を設立
- 3月 ■ ㈱ロフトを子会社化
全国で生活雑貨専門店を展開する同社をミレニアムリテイリングが子会社化
- 3月 ● セブン-イレブンが世界最大のチェーン店舗数に
- 3月 ● 『西武百貨店 渋谷店』全館リニューアルオープン
- 4月 ● セブン-イレブンでのグループ独自の電子マネー『nanaco(ナナコ)』のサービス開始



1950年頃のヨーカ堂千住店(1号店)



1974年、セブン-イレブン豊洲店(1号店)オープン



2006年6月、ミレニアムリテイリング(現 そごう・西武)を完全子会社化

5月 ■ グループのプライベートブランド商品「セブンプレミアム」の販売開始 

7月 ■ 株式会社赤ちゃん本舗を子会社化
全国にベビー・子供洋品専門を展開する同社をイトーヨーカ堂が子会社化 

8月 ■ 国内のセブン-イレブンで「セブンプレミアム」の販売開始

9月 ■ セブン&アイ・フードシステムズがデニーズジャパン、株式会社ファミール、ヨーク物産株式の3社を吸収合併

9月 ■ 『西武百貨店 所沢店』全館リニューアルオープン

9月 ■ 『華糖ヨーカ堂右安門(ユアンメン)店』オープン

10月 ■ 『アリオ西新井』グランドオープン

11月 ■ 株式会社藤越を子会社化
福島県で食品スーパーを展開する同社をヨークベニマルが子会社化

12月 ■ 日本テレビ放送網(株)、株式会社電通との共同出資により株式会社日テレ7(セブン)を設立
小売とメディアの融合を目指し、新たな事業戦略を展開することを目的に同社を設立

12月 ■ 『成都イトーヨーカ堂錦華(ジンファ)店』オープン

12月 ■ デニーズでの『nanaco』の利用開始

2008 1月 ■ 株式会社セブン&アイ・フィナンシャル・グループを設立
銀行業を除くグループの金融関連事業を統括する目的で同社を設立

2月 ■ 自己株式11,329,000株の消却を実施
2008年1月にセブン-イレブン・ジャパンより取得した自己株式全株を消却

2月 ■ セブン銀行がジャスダック証券取引所に上場

3月 ■ イトーヨーカドーでの『nanaco』の利用開始

3月 ■ 『アリオ鳳』グランドオープン

4月 ■ セブン-イレブン中国有限公司を設立
エリアライセンスによる中国でのセブン-イレブン店舗展開の推進を目的に設立

4月 ■ 国内のセブン-イレブン全店舗で『QUICPay(クイックペイ)』の利用開始

6月 ■ 『nanaco』へのクレジットチャージサービスを開始

7月 ■ 1,000億円の無担保社債(第1回・第2回・第3回)を発行

7月 ■ 株式会社セブン&アイ・ネットメディアを設立
IT関連事業の更なる強化を目指し、同事業を統括する目的で同社を設立

7月 ■ 自己株式50,000,000株の消却を実施
市場買付により取得した自己株式全株を消却

8月 ■ 株式会社アインファーマシーズと業務・資本提携
店舗出店、医薬販売及び商品開発における連携を目的に業務・資本提携

8月 ■ 農業生産法人株式会社セブンファーム富里を設立

8月 ■ “生活応援型”ディスカウントストア1号店『ザ・プライス西新井店』オープン 

11月 ■ イトーヨーカドーによる初の自社開発ホームセンター『セブンホームセンター金町店』オープン

2009 1月 ■ 株式会社セブンカルチャーネットワークを設立
文化教室事業と旅行事業を融合した新しいビジネスの展開を目的に同社を設立

1月 ■ セブン-イレブン・ジャパン、富山県と福井県に初出店

1月 ■ 『セブンプレミアム』が日経優秀製品・サービス賞2008の「最優秀賞日本経済新聞賞」を受賞

2月 ■ セブン-イレブン・ジャパン、島根県に初出店

3月 ■ 『イトーヨーカドー武蔵小金井店』オープン

4月 ■ 中国上海市内にてエリアライセンスによるセブン-イレブン店舗展開を開始

6月 ■ 株式会社アインファーマシーズとの共同出資により株式会社セブンヘルスケアを設立
医薬品販売分野のマーケット変化に対応した新たなビジネスモデルの構築を目的に同社を設立

7月 ■ セブン&アイ・レストラン(北京)、中国北京に初出店

8月 ■ ミレニアムリテイリング、そごう、西武百貨店の3社が合併し、存続会社であるそごうの商号を株式会社そごう・西武に変更

8月 ■ グループによる初の自社開発ドラッグストア『セブン 美のガーデン』オープン

9月 ■ そごう・西武がロビンソン百貨店を吸収合併

9月 ■ セブン-イレブン北京、中国天津に初出店

9月 ■ 『華糖ヨーカ堂北苑(バイエン)店』オープン

10月 ■ 国内のセブン-イレブン全店舗で『Edy(エディ)』の利用開始

11月 ■ セブン-イレブン・ジャパン、鉄道駅構内に初出店

11月 ■ プライベートブランド商品の世界展開第1弾としてワインを日米同時販売

11月 ■ 『成都イトーヨーカ堂建設路店』オープン



2007年5月、グループのプライベートブランド商品「セブンプレミアム」の販売開始



2007年7月、赤ちゃん本舗を子会社化



2008年8月、ディスカウントストア1号店『ザ・プライス西新井店』オープン

- 12月** ■ 7-Eleven, Inc.、New England Pantry, Inc.を買収
米国ボストン地区で58店舗のコンビニエンスストアを展開する同社を買収
- 12月** ■ ㈱ぴあと業務・資本提携
各種チケット、イベント関連及び会員ビジネスにおける連携を目的に業務・資本提携
- 12月** ● セブン-イレブン・ジャパン、石川県に初出店
- 12月** ■ セブンアンドワイを㈱セブンネットショッピングに社名変更
- 12月** ● グループのネット通販『セブンネットショッピング』のサービス開始

2010 1月 ● 『華糖ヨーク堂十里堡(ジュリホ)店』をスクラップ&ビルドによりオープン

- 1月** ● セブン銀行による個人向けローンサービスの開始
- 3月** ■ タワーレコード㈱へ資本参加
エンターテインメント及びIT・ネット分野における連携を目的に資本参加 
- 3月** ● 『nanaco』発行枚数1,000万枚を突破
- 6月** ■ 自己株式20,000,000株の消却を実施
市場買付により取得した自己株式全株を消却
- 6月** ■ 1,100億円の無担保社債(第4回・第5回・第6回)を発行
- 6月** ■ ㈱セブン&アイ・アセットマネジメントを設立
西武池袋本店の信託受益権(固定資産)の取得・保有を目的に同社を設立
- 6月** ● 『アリオ北砂』グランドオープン
- 6月** ● 国内のセブン-イレブン全店舗で、『アイワイカード』『JCBカード』のクレジットカード決済サービスを開始
- 7月** ■ ㈱セブンファームを設立
各地における農業法人の新規設立や事業拡大、食品リサイクル網の整備などの一元管理を目的に同社を設立
- 9月** ■ ㈱フレディセゾンとの包括的業務提携契約の締結
そごう・西武がフレディセゾンとの間で行っている提携カード事業の合併会社化及び今後のカード事業の成長を目的に業務提携
- 9月** ■ セブン&アイ・アセットマネジメントがそごう・西武の西武池袋本店の土地建物など(1,230億円)を取得 
- 9月** ● 「セブンプレミアム」のワンランク上の品質を実現した「セブンゴールド」を発売
- 9月** ● 『アリオ橋本』グランドオープン
- 9月** ● 国内のセブン-イレブン全店舗で『Visa』『マスターカード』『アメリカン・エクスプレス』『ダイナースクラブ』のクレジットカード決済サービスを開始

- 10月** ■ アイワイ・カード・サービスを㈱セブン・カードサービスに社名変更
- 10月** ● 都市型小型スーパーマーケット『イトーヨーカドー食品館阿佐谷店』オープン
- 11月** ● セブン-イレブン・ジャパン、「複数店経営奨励制度」内容を拡充
複数店全店を対象にセブン-イレブンチャージから売上総利益の3%に相当する金額を減額する新制度を導入
- 11月** ● セブン-イレブン・ジャパン、北海道キヨスク㈱と業務提携
北海道キヨスクが道内の主要駅に展開しているコンビニエンスストアなどをセブン-イレブン店舗に転換することを目的に業務提携
- 11月** ● セブン-イレブン・ジャパンの店頭マルチコピー機においてチケットぴあの販売開始
- 11月** ● 『イトーヨーカドー曳舟店』グランドオープン
- 12月** ■ セブン-イレブン成都有限公司を設立
中国四川省成都市でのセブン-イレブン店舗展開を目的に設立
- 12月** ● 『アリオ深谷』グランドオープン

2011 3月 ■ セブン&アイ・フィナンシャル・グループ、㈱SEキャピタル及び㈱セブン・キャッシュワークスの3社が合併し、存続会社である㈱SEキャピタルの商号を㈱セブン・フィナンシャルサービスに変更

- 3月** ■ セブン-イレブン・ジャパンが日本における「セブン-イレブン」の商標権を取得
7-Eleven, Inc.が保有する「セブン-イレブン」ブランドの商標権のうち、日本における商標権を取得
- 3月** ● 7-Eleven, Inc.における店舗取得
Exxon Mobil Corporationが米国フロリダ州に展開するコンビニエンスストアなど183物件を取得
- 3月** ● 7-Eleven, Inc.における店舗リース契約
Illinois State Toll Highway Authorityが米国イリノイ州の有料高速道路のサービスエリア内で展開するコンビニエンスストアなど13ヶ所を運営する契約を締結
- 3月** ● セブン-イレブン・ジャパン、鹿児島県に初出店
- 3月** ● 国内のセブン-イレブン全店舗で交通系電子マネーの利用開始
- 3月** ● セブン銀行、海外送金サービス開始
世界最大の送金サービスを展開するウエスタンユニオンと提携し、海外送金サービスを開始 
- 4月** ■ ㈱セブンCSカードサービスを子会社化
セブン・カードサービスと連携し、クレジットカードや電子マネー、共通ポイントサービスを複合的に提供することを目的に同社を子会社化

プロフィール

業績概要

世界の
小売業データ

国内の
小売環境

グループ
事業戦略

主要事業
会社の
営業データ

会社データ



2010年3月、タワーレコードに資本参加



「セブンゴールド」はワンランク上のプライベートブランド商品として販売開始



セブン銀行、海外送金サービス開始

4月 ●「イトーヨーカドーあべの店」グランドオープン

4月 ●「アリオ上田」グランドオープン

6月 ■ 7-Eleven, Inc.、WFI Group, Inc.を買収

米国ニューヨーク州に188店舗のコンビニエンスストアを展開するWilson Farms, Inc.の親会社であるWFI Group, Inc.を買収

6月 ● グループ横断の『セブン&アイ ポイントサービス』を開始
グループ各社発行のクレジットカードの利用で、優遇ポイントを付与するサービスを拡大

9月 ● グループ各社のポイントを「nanacoポイント」に集約してグループ各社の店舗で利用が可能となる「nanacoポイントクラブ」を開始

11月 ●「成田イトーヨーカ堂高新(ガオシン)店」グランドオープン

11月 ●「アリオ倉敷」グランドオープン

12月 ● 無料ワイヤレス通信サービス「セブンスポット」を開始

12月 ● エスバ開業以来初となる大規模改装を実施し「アリオ松本」オープン

12月 ■ セブン銀行、東証に上場

2012 1月 ● セブン-イレブン全店舗の年間売上が国内の小売業で初めて3兆円を突破

1月 ● 7-Eleven, Inc.における店舗取得

Exxon Mobil Corporationが米国テキサス州に展開するコンビニエンスストアなど51ヶ所を取得

2月 ● 7-Eleven, Inc.における店舗取得

Sam's Martが米国ノースカロライナ州及びサウスカロライナ州に展開するコンビニエンスストア55店舗を取得

3月 ■ ㈱セブン・フィナンシャルサービスと㈱ヨークインシュアランスは㈱セブン・フィナンシャルサービスを存続会社として合併

3月 ● セブンネットショッピングで電子書籍の販売を開始

3月 ● ㈱ヨークマートでの『nanaco』の利用開始

3月 ● 65歳以上のお客様に発行手数料無料の電子マネー「シニアnanaco」の利用開始

4月 ● ヨークベニマルでの『nanaco』の利用開始

5月 ● グループのプライベートブランド商品「セブンライフスタイル」の販売開始

5月 ■ セブンヘルスケアを㈱セブン美のガーデンに社名変更

5月 ● セブン-イレブン・ジャパン、秋田県に初出店

6月 ■ 山東衆楽便利生活有限公司を設立

セブン-イレブン・ジャパンは、衆地集团有限公司と合併で山東省でのセブン-イレブン展開を目的に設立

6月 ● 7-Eleven, Inc.における店舗取得

Strasburger Enterprises, Inc.が米国テキサス州に展開するコンビニエンスストア23店舗を取得

Open Pantry Food Marts of Wisconsin, Inc.が米国ウィスコンシン州に展開するコンビニエンスストア18店舗を取得

7月 ● 宅配サービス「セブンらくらくお届け便」スタート

Photo

7月 ■ イトーヨーカ堂(中国)投資有限公司を設立

スーパーストア事業における中国事業の統括と傘下の子会社に直接投資することを目的に設立

9月 ■ セブン-イレブン中国有限公司について事業目的、資本金(増資)などの変更を行い、セブン-イレブン(中国)投資有限公司に商号変更

10月 ■ SEJ Asset Management & Investment Companyを設立

北米における業務拡大と収益の向上に向けた体制を強化することを目的に設立

10月 ● 7-Eleven, Inc.における店舗取得

Prima Marketing LLCが米国ウエストバージニア州、オハイオ州、ペンシルバニア州、ケンタッキー州においてセブン-イレブンのエリアライセンス事業を展開するコンビニエンスストア74店舗を取得

EZ Energy USA, Inc.が米国オハイオ州、ペンシルバニア州に展開するコンビニエンスストア67店舗とガソリン卸売事業を取得

Handee Marts, Inc.が米国ウエストバージニア州及びメリーランド州において、セブン-イレブンのエリアライセンス事業を展開するコンビニエンスストア58店舗を取得

Fast Track, Inc.が米国ノースカロライナ州に展開するコンビニエンスストア12店舗を取得

11月 ■ セブン-イレブン天津有限公司を設立

中国天津市において積極的な業務拡大を図るため新会社を設立

11月 ● 7-Eleven, Inc.における店舗取得

Tetco, Inc.が米国テキサス州及びユタ州に展開するコンビニエンスストア174店舗とガソリン卸売事業を取得

11月 ● 「アリオ鷺宮」グランドオープン

12月 ● 7-Eleven, Inc.における店舗取得

C.L. Thomas, Inc.が米国テキサス州に展開するコンビニエンスストア143店舗とガソリン卸売事業を取得

2013 2月 ● セブン-イレブン・ジャパン、国内店舗数15,000店を突破

Photo

3月 ● セブン-イレブン・ジャパン、香川県と徳島県に初出店

Photo

3月 ● 7-Eleven, Inc.における店舗リース契約

Lehigh Gas Partners LPが米国ペンシルバニア州に所有するコンビニエンスストア19店舗を運営する契約を締結



超小型電気自動車「コムス」による「セブンらくらくお届け便」スタート



セブン-イレブン・ジャパンの国内店舗数は、2003年に10,000店、2013年2月末には15,000店を突破



2013年3月、セブン-イレブン・ジャパンが四国に初出店

- 3月** ■ セブン銀行、550億円の無担保社債(第8回・第9回・第10回)を発行
- 4月** ■ クレジットカードと電子マネー『nanaco』が一体となった『セブンカード・プラス』のサービス開始
- 4月** ■ 1,000億円の無担保社債(第7回・第8回・第9回)を発行
- 4月** ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得
CB Mart, Inc.が米国サウスカロライナ州に展開するコンビニエンスストア46店舗を取得
- 4月** ■ 『アリオ仙台東』グランドオープン
『イトーヨーカドー仙台東店』を大規模改装し、『アリオ仙台東』としてグランドオープン
- 6月** ■ 『アリオ上尾』グランドオープン
- 7月** ■ イトーヨーカ堂、(株)ダイイチと業務・資本提携
北海道地区での食品小売分野の事業基盤強化を目的に業務・資本提携
- 8月** ■ 『nanacoギフトカード』販売開始
- 9月** ■ 東京メトロと無料Wi-Fiのコンテンツ配信サービスで提携
東京メトロの『MANTA』とセブン&アイ・ホールディングスの『セブンスポット』の相互利用、連携コンテンツ配信、会員認証の連携を実施
- 9月** ■ セブン銀行の米国完全子会社FCTIによるGlobal Axxess Corp.のATM事業の買収実行
- 10月** ■ セブン-イレブン・ジャパン、新京成電鉄(株)と業務提携
新京成線駅構内の売店をセブン-イレブン店舗に転換することを目的に業務提携
- 11月** ■ セブン-イレブン・ジャパン、創業40周年 Photo M
- 11月** ■ 『食品館イトーヨーカドー鎌ヶ谷店』と21の専門店で構成された『ショッピングプラザ鎌ヶ谷』グランドオープン
- 11月** ■ 『アリオ市原』グランドオープン Photo N
- 12月** ■ (株)ニッセンホールディングスと資本・業務提携
(株)ニッセンホールディングスが有するカタログ、インターネット事業における強みをオムニチャネル戦略の推進に活用することを目的に資本・業務提携
- 12月** ■ (株)天満屋ストア並びに(株)天満屋と業務提携
イトーヨーカ堂、(株)天満屋ストアと資本提携
岡山県・広島県における小売事業の基盤強化を図る目的に業務提携
- 12月** ■ (株)パルスと資本・業務提携
雑貨関連商品などの共同開発による付加価値の高い商品の販売、及びオムニチャネル分野での連携を目的に資本・業務提携
- 12月** ■ 中国・重慶市でのセブン-イレブン店舗展開を開始

- 2014 1月** ■ 『成都イトーヨーカ堂 温江(オンコウ)店』グランドオープン
- 1月** ■ 『セブンカフェ』が日経優秀製品・サービス賞2013の「最優秀賞日本経済新聞賞」を受賞 Photo O
- 1月** ■ (株)バーニーズジャパンの株式取得
百貨店事業における商品開発力の強化及びオムニチャネル分野での連携を目的に株式取得
- 1月** ■ (株)ニッセンホールディングスを連結子会社化
- 3月** ■ (株)セブン&アイ・ネットメディアは(株)セブンネットショッピングを吸収合併
- 3月** ■ セブン-イレブン・ジャパン、愛媛県に初出店
- 3月** ■ イトーヨーカ堂、[平成25年度第35回食品産業優良企業等表彰]環境部門で農林水産大臣賞受賞
- 3月** ■ セブン-イレブン・ジャパン、西日本旅客鉄道(株)並びに(株)ジェイアール西日本デیلیーサービスネットと業務提携
西日本旅客鉄道株式会社管内における既存の駅店舗を提携店舗へリニューアルすることを目的に業務提携

プロフィール

業績概要

世界の
小売業データ

国内の
小売環境

グループ
事業戦略

主要事業
会社の
営業データ

会社データ



M 2013年11月、セブン-イレブン・ジャパンが創業40周年を迎える



N 2013年11月、都市型ショッピングセンター「アリオ市原」オープン



O 「セブンカフェ」が日経優秀製品・サービス賞2013の「最優秀賞日本経済新聞賞」を受賞